

久保田かずえ町議は、2013年3月町議会において、老朽危険空き家対策、石木ダム問題、城山公園の整備について一般質問を行いました。

空き家実態調査と国の制度摘要を

久保田かずえ町議

町内には放置され廃屋になった危険な空き家がある。近隣に住む住民の方々は、防災、防犯、衛生の悪化などから不安な毎日を送っており、崩壊、倒壊、屋根、外壁の落下などの恐れのある空き家対策が求められている。住民の安全、安心な暮らしと町の景観を守るための条例の制定や、解体促進のための補助を行う考えはないか。

町長

老朽空き家、廃屋については、少子高齢化や人口の減少に伴い、全国各地で問題になっている。



久保田かずえ町議

各自自治体もその対応に苦慮しておられ本町も同様である。どのような対応や対策が必要なのか調査研究を始めたところである。

住民の安全安心な暮らしと町の景観を守るために、どんな制度の構築ができるか提言をいただきました。

久保田町議

危ないと思われる建物は、白石のSカーブの2階建ての一軒家で、瓦でも落ちたり崩れてきたりしたら危ない。もう一軒は岡村衣料の裏にあるが、外壁も屋根もほとんどない状態で、突風で飛ばされたら危なくて安心できないと、近隣の住民は言っておられる。いたずらで放火されれば大変なことになると思う。

よその自治体を調べてみると、全国では多くはないが2012年1月の調査で54の自治体が条例

を作っている。

また、解体する時の解体費用も平均で70万円はかかり、解体した場合は固定資産税が6倍程度になると云う問題もある。

町内で、問題になる空き家かどうかあるか掴まれているのか。

町長

廃屋の問題については、川棚町の総代会の中でも話題になっており、すでに実態調査がなされている。

資料によると、廃屋が28戸、空き家が47戸合わせて75戸と総代会では把握されている。

これについては対応策を早急に町として考えてもらいたいという要望もいただいている。

久保田町議

廃屋28戸、空き家47戸は持ち主と連絡が取れる状況なのか。

町長

把握はしていない。調査研究を始めようということを取り組んでいるが、特に危険な箇所については、個々に総代さんの方から情報を受けることになっている。

所有者や、地上権の設定があるものかどうか含めて今後の対応をしていきたい。

久保田町議

空き家対策の補助と、空き家の解体補助と言うのは国の制度の中にある。ぜひ利用してもらいたい。

私の持っている資料の中に、09年に国は過疎地域と旧産炭地域に限っていた空き家撤去費の補助対策を人口減少が認められる市町まで拡大している。

空き家の実態調査と国の支援制度の適用を利用していたきたい。

定住促進空き家事業と言うのも国にあって過疎地域市町村などを対象に空き家の改修に必要な経費に対する補助もある。実態を掴んで制度を大いに利用していただきたい。

要介護者の住宅改修や福祉用具購入費は1割の用意で

2012年6月議会で久保田かずえ町議が質問していた介護保険利用者や介護家族の方から要望のあった要介護者の住宅改修の費用や福祉用具購入に対する受領委任払が実現しました。

今までは利用者が一旦建て替える償還払いとなっていたが、1割だけを用意すれば福祉用具の購入も、住宅の改修(上限20万円)もできる受領委任払制が4月1日から施行されました。

県内8つの町の中で一番早く実現しました。詳しくは役場の住民福祉課へ。または、久保田かずえ町議まで。

城山公園の整備を

久保田町議

城山公園が町民にとって安心して利用できるように溝蓋を設置する考えはないか。

町長

平成26年度の事業として考えている。

